

3月  
定例会

令和2年度補正予算 (総額13億1,772万7千円)  
令和3年度当初予算 (総額773億6,096万3千円)  
令和3年度補正予算 (総額12億4,837万3千円) を可決

令和3年第2回3月定例会は3月3日から3月25日まで開催され、議案51件を審議し、最終日には、議案などの採決を行いました。また、3会派の代表者が代表質問を、議員14人が議案質疑と一般質問を行いました。発言の要旨は、会派別に2ページから7ページに掲載しています。



自民クラブ

伊藤 孝 司議員



(代表質問)  
1 令和3年度に向けての市長の所信について

新型コロナウイルスの影響と対策は？

**問** コロナ禍により生活困窮に陥ったかたに対して実施している緊急小口資金の申し込み状況はどうか。

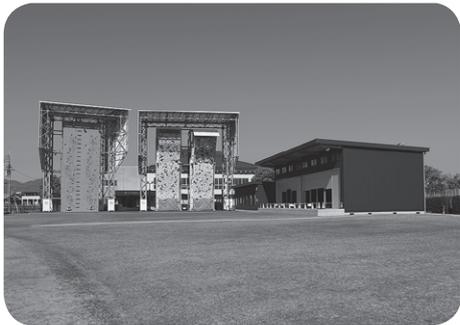
また、ワクチン接種について、市民への情報提供や救急隊員の優先接種、海外からの技能実習生への対応はどうか。更に、飲食業や観光関連事業者などが苦境に陥る中、現況をどう捉えているのか。併せて、各種施策が影響を受ける中、オーストリア国の

東京オリンピック事前合宿中  
止をどう受け止めているのか。

**答**

社会福祉協議会が給付する小口資金として、709件、1億2千429万円が給付されている。行政としても誰一人取り残すことのない視点を持って対応に臨みたい。ワクチン接種については、供給量に流動的な要素があることから、国、県と情報連携し、希望する市民に届けることに全力を注ぎ、併せて分かりやすい周知に万全を尽くしたい。なお、136名の消防職員が優先接種を受けるとともに、外国人のかたも市民同様、住所地で接種可能である。

地域経済については、市内法人の休廃業が前年同期を下



合宿予定であった石鎚クライミングパークSAIJO

回るなど、各種支援策に一定の効果があつたと考えており、今後は、電子商品券の発行やポストコロナ・ウィズコロナを見据えた企業のチャレンジ支援に取り組みたい。オーストリア国との交流は、これまで積み上げてきたことをたいせつに、子どもたちを含む市民全体で盛り上げることを意識して対応したい。

豊かな心とともに育む  
教育・文化を目指して

**問**

令和2年度に改定した西条市教育大綱で5つの基本方針を示す中、今後、教員の働き方改革をどのように推進し、国が進める小学校の教科担任制や35人学級化にどのように対応するのか。

また、社会教育施設の更なる充実に向け、どのように取り組むのか。併せて、知覧特攻平和会館所蔵の故伊藤五百亀氏制作、特攻勇士の像「とこしえに」の原型について、ご遺族が五百亀記念館での保存展示を希望されているとの話を聞いたが、市長の考えはどうか。

**答**

学校現場の業務改善については、平成29年度から部活動の在り方に関する方針の策定やスクールサポートスタッフ、部活動指導員の配置などに取り組んできた。現在、地域や家庭とともに学校を作るコミュニケーション・スクールの取組を進めており、今後も可能なところから働き方改革を推進したい。教科担任制については、適正な人員確保を県教育委員会に要望し、35人学級化については、少子化などを見据えた教育環境の整備の検討が必要と考える。また、社会教育施設については、縮充に向け、学芸員を中心とした施設再編の検討に着手したい。

最後に特攻勇士の像については、まず、伊藤五百亀氏ご遺族のご意思を確認することから始めたい。



伊藤五百亀氏の作品を展示する記念館